

市長と語る「まちづくり座談会」意見交換(要旨)

開催日時 平成30年7月23日(月)

開催会場 財光寺南地区まちづくり事務所(対象地区 財光寺地区) 参加者数 21名

1 子育て支援に関すること

会場	発言内容	回答者	回答内容
財光寺	保育園とか幼稚園ではフッ素塗布をしているのに、小学校からはフッ素塗布ができていない。子どもが健康で頑張る時期に虫歯になるのは残念。フッ素塗布を小学校でも実施し、さらに中学校では、給食後の歯磨きを推進していただきたい。	市長	フッ素塗布は、保育所以降が問題。なかなかフッ素塗布の取り組みに対する理解が進んでおらず、実施に至らない環境にある。できるだけ、小学校・中学校に、歯を磨くことを奨励していきたい。
財光寺	児童クラブでも障がい児の受け入れが非常に多くなっており、特に障がいの認定を受けてない、グレーゾーンの中にいる子どもが増えている。健康福祉部の中で、子ども課と福祉課(障がい福祉係)で連携し、ヘルシースタート事業の中で、健常者だけでなく、障がい児の支援も強化していただきたい。	市長	発達障害は、乳幼児期の早い段階で把握し、いかに対応するかが大事だと聞いている。発達障害に対し、専門性の高い職員もいるので、こども課と福祉課(障がい福祉係)で連携して対応していく。具体的対策は、発達障害を早期発見し、専門の方に対処していただく取り組みが大事だと認識している。
		健康福祉部長	健康福祉部が同じフロアに入り、こども課と福祉課障がい係が近くなったので、連携を図っていくことにしている。こども課では、相談員を配置し、保護者に対する相談や訪問支援を実施しており、今後も引き続き、取り組みたいと考えている。
財光寺	障がいの原因が、生まれた後(後天的)の環境が原因で、障がい者認定を受けるといのであれば、その改善に向け、行政として取り組んでいただきたい。	市長	医療における発見が、見逃していたのではなく、発見が早くなったことが、数字的に増加した要因だと思う。早い段階で専門の方に診ていただくと、回復にも影響があると聞いている。専門的な治療なり、対処をしっかりとる事が大前提である。
		教育部長	市では、保育所・幼稚園から小学校に上がる前、就学前の健康診断・相談を実施している。相談体制等の充実もあり、しっかり把握できている。幼保小連携で、幼稚園、保育所、小学校の先生の連携体制も以前より良くなったと思う。

2 産業振興に関すること

会場	発言内容	回答者	回答内容
財光寺	日向市だけでなく、どの地域も人口が減っていくのは分かっているとのことですが、その課題に対し、どう日向市が施策を打っていくのか、重点的にやっていくところをお聞きしたい。	市長	高校・大学卒業時の社会減の減少を図るため、現在、日向の良さや地元こうした企業があって、日向でも暮らせることを子どもや保護者に周知するキャリア教育を実施している。夢を持ち、日向を出るのは分かるが、その子どもが帰りやすい街になる施策に取り組んでいる。都会に出て行った子どもの35%程は戻ってきている。その子どもたちの受け皿を、日向につくらないといけないと考えている。

2 産業振興に関すること

会場	発言内容	回答者	回答内容
財光寺	財光寺地区には、お倉ヶ浜があります。地域活性、観光の入口としてサーフィン自体は悪いとは思わないが、何か市民の賛同、理解を得ていないのか実感が無い。今後、財光寺地区、お倉ヶ浜を含めた観光とかスポーツとか、そういった振興について市長の考えをお聞きしたい。	市長	サーフィンの理解もだが、市民の皆さんが海に親しむこともまだ足りているとは思っていない。そこで海の多様な楽しみ方を目的に「サーフタウン基本構想」を策定、観光客の呼び込みや市民がゆっくり過ごせる空間を作りたいと思っている。早速、サーフィンだけでない海を楽しめる「日向ビーチスポーツフェス」も開催した。また、牧水公園、美々津伝建地区、門前町の三角形(トライアングル)を繋げた取り組みを進めているほか、「シーニックバイウェイ」という体験型観光ルートの調査・研究も進めており、観光発展に繋げたいと考えている。また、観光消費額倍増目標を立てているが、泊まる観光にしないと金額は倍増しないと思う。観光産業における従業員数がH21～25間に「0.7%」減少している。観光振興を図らなければ従事する人も減るので、そこを維持し、増やすことを目標に取り組む必要があると考えている。
財光寺	市は数字的な検証が弱いと思う。市の会議でもプラスの話だけでなく、失敗だったこともオープンにする時代だと思う。何が問題だったのかを明確にし、次のステップに繋げていくような取り組みをお願いしたい。	市長	常に反省、検証して次のステップに進んでいることをご理解いただきたい。現在、プラスのことだけでなく、事業をやめる検討を部内で進めている。勇気が必要ですが、英断をしないとイケない時代を迎えている。
財光寺	高速道路のインターチェンジ(変電所)のところの農地の休耕地が増えている。民間の商業施設進出の話があったが撤退。あの地域はこの先、農地として残すだけなのか、意見を聴きたい。	市長	民間の商業施設が撤退した詳しい理由は、私も聞いていない。あそこは農業振興地域にも該当していると思う。今後、商業スペースをつくる計画など、今の段階ではない。

3 その他

会場	発言内容	回答者	回答内容
財光寺	お舟出の湯の建物の外壁のコンクリート造りを見るたびに冷たく感じる。塩害などの関係があると思ったが、温泉好きな知り合い聞いたら、ぱっとしない、との話。外壁に手を入れる予定はないのか。	市長	今のところ外壁に手を加える予定はない。ボイラーなどや塩害によるトラブルが発生しており、そこに手をいれようと思っている。これまで200万人来ているが、利用者は増えていない。検証する視点として、研究する。
財光寺	100歳体操の指導をしているが、市の支援条件として、週に一回という要件があり、サポートしてもらえない。私の地区は月に2回やっているが、会員も月1回が限界だと言う。社協にも申し入れたが、1週間に1回しないと指導もサポートしないとのこと。支援する基準を聞きたい。	健康福祉部長	週1回というのは効果が出る期間のくくりとして取り組んでいると思う。持ち帰って担当課と相談して検討したい。 ※座談会后、週1回実施することにより得られる効果、支援条件等について、当該区の区長、民生委員等へ説明。その後、毎週実施に向け調整済み。今後、支援を実施する予定。

3 その他

会場	発言内容	回答者	回答内容
財光寺	財光寺の幹線道路整備により、住みやすくなっている。歩道の石は見た目はいいが、車が入り出すとすぐ割れてしまう。でこぼこが多い。市に陳情すると、アスファルトやセメント系で簡易的な補修をしている。これから先も補修が必要になると思うが、どのように補修していくのか。	建設部長	歩道(中国の石)で、通行を妨げるものであれば補修していきたい。資材が手に入らない時は、やむを得ず、アスファルト等に対応させていただきたい。
財光寺	市の花は「ひまわり」で、昔は植える活動があったが、今はひまわりを見るところが少ない。公的にも取り組んでいない気がする。他の市町村(ひまわり畑)が、すごく綺麗でボリュームも全然違う。市の花を変えられるのであれば変えた方がいいと思う。私は日向にマッチした花だと思う。	市長	ひまわりの花を見ることは少なくなってきました。お倉ヶ浜の運動公園の県道沿いに、ひまわり畑がありましたが、今はなく、現在は、寺迫地区しか植栽をしていないかもしれません。日向市の花を変えることは相当の議論と勇気がないとできないと思います。
財光寺	ふるさと納税の実績はどれくらいあるのか。都農町が(全国)2位になり、あそこは都農ワインぐらいしかないと考えていたが、別の商品が人気と聞いた。かなりの増収になると聞いている。	農林水産部長	平成29年度、2億7825万円、277番目、県内12番目、前年から約400万円減っている。全国的にネット販売になり過熱。地域で取れたものを返礼品にとの総務省指導の中、現在、120の返礼品を200にしようとして取り組んでいる。今年は、返礼割合が3割で、納税額が減るのでと懸念をしているが、出来る限り納税をしていただくよう担当者一同取り組んでいきたい。

座談会のようす

